



第67期 決算のご報告

平成20年4月1日 ～ 平成21年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
「第67期 決算のご報告」をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心より御礼申し上げます。

一昨年の米国サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況は、わが国の金融市場にも多大な影響を与え、不動産業界や建設業界への金融収縮は厳しく、多くのデベロッパーやゼネコンの倒産が相次ぎ、我々建設業界を取り巻く環境は大変厳しいものとなりました。

当社はこのような環境のもと国内建設事業では、資金回収リスクの回避や工事資金収支の改善を目的にして、昨年上半期より大きく営業方針の転換を図りました。受注活動のウェイトを、資金回収リスクの高い分譲マンションから公共工事へとシフトするとともに、工事利益率の改善に全社を挙げて努力してまいりました。その結果、工事利益率を大幅に改善することができました。

一方、海外建設事業では、昨年秋以降、急速に進んだ世界同時不況により景気の減速感が漂うなか着実に実績を重ね、完成工事高、完成工事利益は前期を大幅に上回る成果を上げることができました。

当社グループ全体の業績は、「中期経営計画」の達成へ向け努力を重ねてまいりましたことが実を結び、当期純利益は前期より微増、連結の営業利益および経常利益は前期を上回る業績を上げることが出来ました。このことはひとえに株主の皆様方のご支援の賜であると心より厚く御礼申し上げます。

今後、我々建設業界を取り巻く環境は一層厳しさが増すものと思われませんが、全役職員一丸となり、営業力、収益力を更に強化し、無駄を排除することで財務体質の改善と自己資本の充実を図ってまいります。「社業を健全にすることが全てを解決する」この社是の言葉を念頭に、全社を挙げて「中期経営計画」の達成に向け邁進いたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



取締役社長 橋本 武典

営業の概況

当期業績概況

当連結会計年度のわが国経済は、昨年初の米国金融機関の破綻を契機に、世界的な信用収縮が加速的に進み、資金調達環境が悪化する等、国内経済に深刻な影響を与え、景気の先行き不透明感を払拭することができない状況となりました。

建設業界におきましては、世界経済の悪化に伴い民間設備投資の計画中止や延期等が相次ぐなか、建設需要の縮小傾向が顕著となり、また、不動産業者の経営破綻等が多発し、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グルー

プは、「中期経営計画」に基づき、優先株式28億円を全額償還する等、目標達成に向けて着実に成果を上げてまいりました。また、不動産関連事業者からの受注については、資金回収リスクを回避するため、選別受注の徹底、与信管理の強化等へ方針転換を図ることにより、経営環境の変化に対応してまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、建設事業1,151億50百万円（前年同期比0.5%増）に不動産事業他14億43百万円（前年同期比17.8%減）

を合わせ、1,165億93百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は前年同期比2億15百万円増の29億2百万円、経常利益は前年同期比1億13百万円増の26億50百万円となりましたが、貸倒引当金繰入額4億19百万円、投資有価証券評価損1億84百万円等を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は前期より微増の17億68百万円となりました。

セグメント別概況

建設事業

当社グループの受注高は、国内建設事業1,007億61百万円（前年同期比0.5%減）に海外建設事業245億71百万円（前年同期比29.8%減）を合わせ、1,253億33百万円（前年同期比8.0%減）となりました。

売上高は、国内建設事業872億1百万

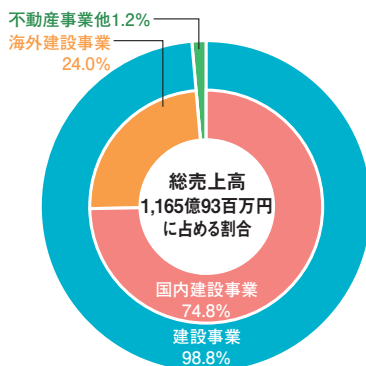
円（前年同期比7.0%減）に海外建設事業279億48百万円（前年同期比34.1%増）を合わせ、1,151億50百万円（前年同期比0.5%増）となりました。また、営業利益は、21億88百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

不動産事業

賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、14億2百万円（前年同期比4.4%減）となり、営業利益は、7億1百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

その他の事業

その他の事業については、売上高41百万円（前年同期比85.7%減）となり、営業利益は、12百万円（前年同期比70.5%減）となりました。



経営方針

会社の経営の基本方針

当社グループは、経営目標に「法令を順守し、品位ある企業を目指す」、「品質確保に努め、顧客の信頼に応える」、「社業を健全にし、全ての向上を図る」を掲げ、法令を順守し、品質を確保して社業を發展させ社会に貢献する企業であることを経営の基本方針としております。

中期的な会社の経営戦略および会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、「100年に一度の経済不況」と呼ばれる厳しい経済環境にあり、多数の企業が生産調整や雇用調整を行う等、実体経済の悪化は深刻さを増しております。

このような状況のもと、国内建設事業では、営業力の強化を図ることにより当社グループの中核事業としての事業規模を維持し、引き続き工事採算の向上により利益確保に努めてまいります。

また、当期新たに見直した受注方針に沿ったリスク管理の徹底、工事資金収支の改善等により経営基盤の安定化を図ることが重要課題であると認識しております。

一方、海外建設事業では、海外事業本部機能を一層強化し、当社グループが事業展開している各国固有の状況を的確に把握することにより安定的な受注と利益の確保に努めます。

また、工事の安全管理の徹底と環境保全活動の推進を積極的に展開し、企業の社会的責任を果たしていくとともに、内部統制システムのさらなる強化を進め、法令や社会規範に則った会社運営に努めてまいります。

中期経営計画

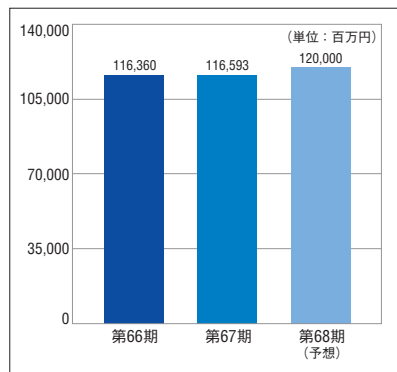
基本方針

- ①国内建設事業の安定黒字化実現
- ②海外建設事業の売上200億円体制の確立
- ③優先株式償還による資本の質改善
- ④有利子負債削減などによる財務体質強化
- ⑤人材育成と高齢化対策（組織体制と人事政策）
- ⑥コンプライアンス体制の確立

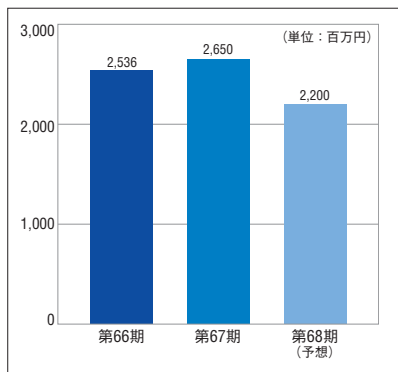
目標とする経営指標

- ①優先株式28億円の全額償還
- ②借入金残高100億円以内
- ③海外建設売上200億円以上
- ④配当3円以上

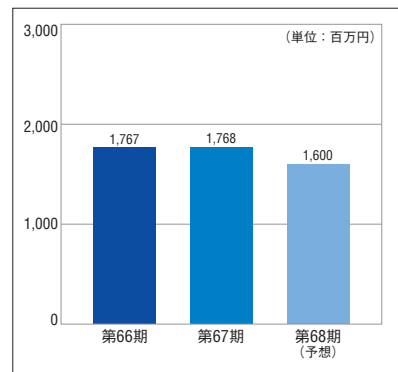
■連結売上高



■連結経常利益



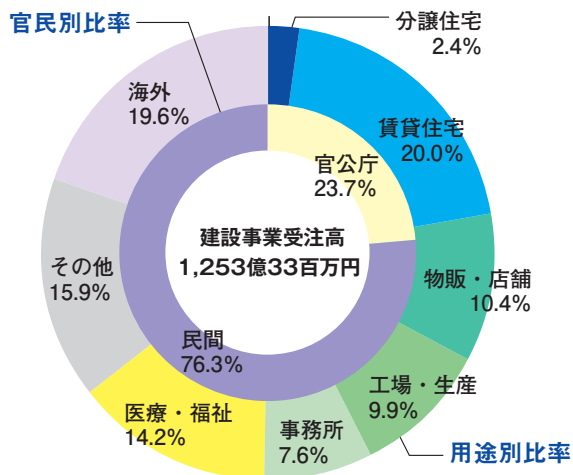
■連結当期純利益



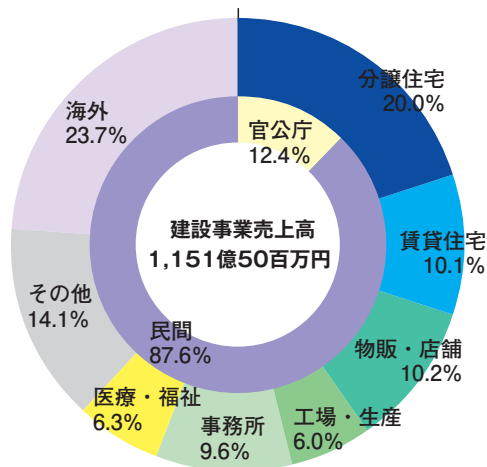
建設事業概況

当連結会計年度における建設事業の用途別・官民別の内訳につきましては以下のとおりであります。

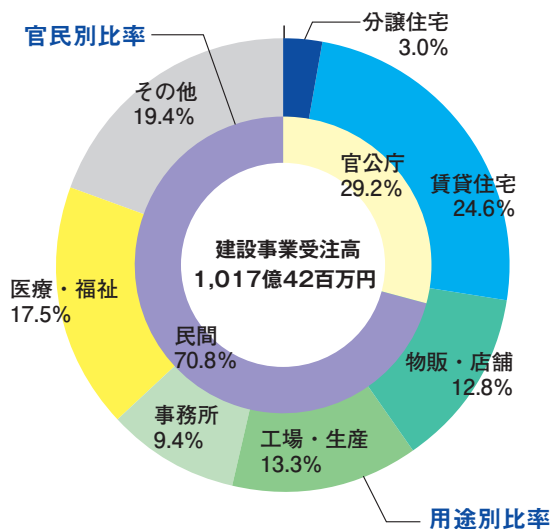
連結受注高 内訳



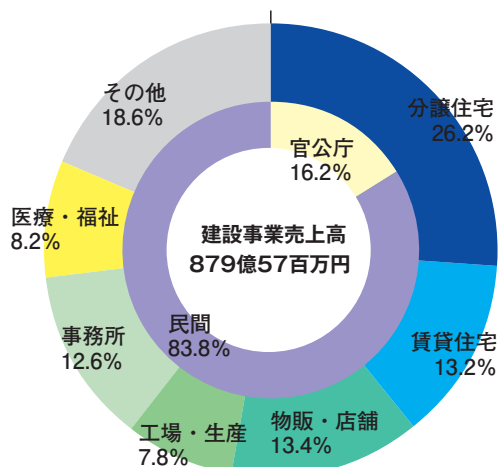
連結売上高 内訳



個別受注高 内訳



個別売上高 内訳



連結決算概要

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	60,339	53,976
固定資産	20,386	19,565
有形固定資産	16,261	14,822
無形固定資産	144	146
投資その他の資産	3,979	4,597
資産合計	80,725	73,542
(負債の部)		
流動負債	62,858	54,356
固定負債	7,726	7,899
負債合計	70,584	62,256
(純資産の部)		
株主資本	11,572	11,966
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	5,136	5,527
自己株式	△25	△23
評価・換算差額等	△1,758	△1,192
その他有価証券評価差額金	37	306
為替換算調整勘定	△1,795	△1,498
少数株主持分	326	511
純資産合計	10,140	11,285
負債純資産合計	80,725	73,542

連結損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	116,593	116,360
完成工事高	115,150	114,604
不動産事業等売上高	1,443	1,755
売上原価	108,062	108,144
完成工事原価	107,521	107,500
不動産事業等売上原価	540	644
売上総利益	8,531	8,216
完成工事総利益	7,629	7,104
不動産事業等総利益	902	1,111
販売費及び一般管理費	5,628	5,528
営業利益	2,902	2,687
営業外収益	215	260
営業外費用	467	410
経常利益	2,650	2,536
特別利益	33	2,628
特別損失	660	2,735
税金等調整前当期純利益	2,023	2,429
法人税、住民税及び事業税	327	342
過年度法人税等戻入額	△160	—
法人税等調整額	△63	89
少数株主利益	151	230
当期純利益	1,768	1,767

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△645	△2,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	93	5,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,568	△5,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△338	△327
現金及び現金同等物の増減額	678	△2,952
現金及び現金同等物の期首残高	10,024	12,976
現金及び現金同等物の期末残高	10,702	10,024

連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	5,061	1,400	5,527	△23	11,966	306	△1,498	△1,192	511	11,285
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△237		△237					△237
当期純利益			1,768		1,768					1,768
自己株式の取得				△1,924	△1,924					△1,924
自己株式の消却				1,922	—					—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△268	△297	△566	△184	△751
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△391	△2	△393	△268	△297	△566	△184	△1,144
平成21年3月31日残高	5,061	1,400	5,136	△25	11,572	37	△1,795	△1,758	326	10,140

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別決算概要

貸借対照表 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(平成21年3月31日現在)	(平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	50,629	46,300
固定資産	20,660	19,640
有形固定資産	14,126	12,543
無形固定資産	138	146
投資その他の資産	6,396	6,951
資産合計	71,289	65,941
(負債の部)		
流動負債	55,887	49,168
固定負債	7,321	7,568
負債合計	63,209	56,736
(純資産の部)		
株主資本	8,064	8,925
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	1,628	2,487
自己株式	△25	△23
評価・換算差額等	15	278
その他有価証券評価差額金	15	278
純資産合計	8,080	9,204
負債純資産合計	71,289	65,941

損益計算書 (単位：百万円)

項目	当期	前期
	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	88,917	95,294
完成工事高	87,957	94,037
不動産事業等売上高	959	1,257
売上原価	82,269	88,889
完成工事原価	81,821	88,301
不動産事業等売上原価	447	587
売上総利益	6,647	6,405
完成工事総利益	6,135	5,735
不動産事業等総利益	511	669
販売費及び一般管理費	4,877	4,604
営業利益	1,769	1,800
営業外収益	606	355
営業外費用	461	405
経常利益	1,914	1,751
特別利益	28	2,026
特別損失	616	2,113
税引前当期純利益	1,326	1,664
法人税、住民税及び事業税	40	28
法人税等調整額	△15	113
当期純利益	1,300	1,521

株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
		資 本 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰越利益剰余金				
平成20年3月31日残高	5,061	1,400	2,487	△23	8,925	278	9,204
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△237		△237		△237
当期純利益			1,300		1,300		1,300
自己株式の取得				△1,924	△1,924		△1,924
自己株式の消却			△1,922	1,922	—		—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△263	△263
事業年度中の変動額合計	—	—	△858	△2	△860	△263	△1,124
平成21年3月31日残高	5,061	1,400	1,628	△25	8,064	15	8,080

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス 〈国内建設事業〉

東京都23区初の区立病院が完成！

平成21年4月東京都23区で初となる区立病院として、台東区立台東病院が開業いたしました。この病院は、高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を確保すること等を事業計画の基本理念としており、地上8階建ての建物のうち1階から5階が病院施設、6階から8階が老人保健施設で構成されています。

建物の構造的な特徴は、天然ゴム系積層ゴムの免震装置を17基、鉛プラグ入り積層ゴムの免震装置を31基、合計48基の免震装置と揺れを戻そうとする力（減衰性能）を向上させることを目的として設置されたオイルダンパー8基を有する特殊構造であります。大規模震災時においても地震の揺れを吸収して建物を守り、地域住民の避難場所となる役割を果たします。

工事を施工するにあたり、品質管理の徹底は当然ですが、地域医療を支える重要な医療施設であるため、その施工精度には細心の注意を払い施工いたしました。

地域の皆様に親しまれる施設となることを期待しております。



免震装置



オイルダンパー

【工事概要】

工事名	(仮称) 新台東病院等新築工事
発注者	東京都台東区
施工	ナカノフドー・三平・大雄・三ツ目特定建設工事共同企業体
竣工	平成21年3月
規模	地上8階、地下1階、塔屋1階 延床面積17,328㎡

トピックス 〈海外建設事業〉

シンガポールにて「グリーンマークゴールド」賞を受賞！

当社グループは、海外進出を果たしてから35年以上の地道な活動を通じ、平成21年3月時点では、東南アジア5カ国で320名のスタッフが活躍し、日系企業はもちろんのこと、欧米系企業、現地政府・財閥系企業から高い評価と信頼を得て様々な大型プロジェクトの受注も増加しております。

平成21年6月、シンガポールでの継続顧客であるキャピタランド社より受注した「メトロポリタンコンドミニウム」が完成いたしました。

この建物は地上45階建のコンドミニウムであり、当社グループ内の施工実績の中で、最も高層の建物であります。施工場所は、シンガポールの中心街に程近い住宅地に位置し、線路脇という施工上難しい立地でありました。周辺の建物の中ではひととき目立つ建物となっており、地域のランドマークとして注目を集めております。

また、シンガポール国内の最初の超高層コンドミニウムであり、パイロット的な建物として各方面よりの関心が高く、当社においても省エネルギー対策を試みたプロジェクトになりました。その結果、シンガポール建設局からは環境対策に考慮された建物として『グリーンマークゴールド』賞を受賞いたしました。



【工事概要】

発注者	キャピタランド社
竣工	平成21年6月
構造	RC造
規模	2棟 382戸 地下2階／地上45階 延床面積63,869㎡
施工場所	シンガポール



施工実績紹介 (当期完成工事)

庁舎



東京入国管理局横浜支局 (神奈川県横浜市)

構造:SRC造
規模:2棟 地上4階
延床面積:11,581㎡

医療施設



医療法人創成えんどう病院 (北海道札幌市)

構造:RC造
規模:1棟 地下1階/地上7階
延床面積:5,025㎡

教育施設



宝仙学園短期大学1・2号館及び中学校・高等学校3号校舎 (東京都中野区)

構造:S造
規模:2棟 地下1階/地上4階
延床面積:2,320㎡

スポーツ施設



コナミスポーツクラブ本山南 (兵庫県神戸市)

構造:S造
規模:地上4階
延床面積:4,618㎡

福祉施設



介護老人保健施設 泉翔の里（宮城県仙台市）

構造：RC造
規模：地下1階/地上2階
延床面積：5,209㎡

事務所ビル



株式会社タナベ経営新本社ビル（大阪府大阪市）

構造：S造
規模：1棟 地上8階
延床面積：3,411㎡

商業施設



ケーズデンキ藤沢本店（神奈川県藤沢市）

構造：S造
規模：1棟 地上2階
延床面積：18,811㎡

データセンター



CSFデータセンター（マレーシア）

構造：RC造
規模：1棟 地上6階
延床面積：27,127㎡

受注実績紹介 (当期受注工事)

株式会社日本デキシー真岡工場

環境に優しいリサイクル可能な紙容器を製造する工場。

発注者 株式会社日本デキシー
竣工 平成21年9月予定
構造 S造
規模 地上2階
延床面積 37,233㎡
場所 栃木県真岡市



国立国際医療センター国府台病院肝炎・免疫研究センター

一般診療科及び肝炎・免疫などを主体に研究・診療するナショナルセンター。

発注者 国立国際医療センター国府台病院
竣工 平成23年2月予定
構造 RC造
規模 2棟 地上4階
延床面積 17,641㎡
場所 千葉県市川市



ハイムグランデ東松山



埼玉県にある東松山駅の整備事業の一環として建設される行政施設等を有する分譲住宅。

発注者 積水化学工業株式会社
竣工 平成22年4月予定
構造 RC造
規模 1棟 95戸 地下1階／地上13階
延床面積 10,781㎡
場所 埼玉県東松山市

レイクサイドコンドミニアム



シンガポールジュロン地区を職住近接の副都心として整備する大規模再開発事業の一環として建設される分譲住宅。

発注者 フレイザーズセンターポイント
竣工 平成24年3月予定
構造 RC造
規模 11棟 712戸 地下2階／地上17階
延床面積 77,003㎡
場所 シンガポール、ブーンレイ通り

会社概要

(平成21年6月26日現在)

商号	株式会社ナカノフド-建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,122名(連結) 810名(個別)(平成21年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。国内および東南アジアでは総合建設業を、北米では不動産事業を主として営んでおります。

主要な事業所

国内

本店	(東京都千代田区九段北四丁目2番28号)
東京本店	(東京都千代田区)
東北支社	(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市)
大阪支社	(大阪市)
九州支社	(福岡市)
土木支店	(東京都千代田区)
北海道支店	(札幌市)
東関東支店	(千葉市)
北関東支店	(さいたま市)
横浜支店	(横浜市)
茨城支店	(土浦市)
台東支店	(東京都台東区)
北東北支店	(八戸市)

海外

ハノイ駐在員事務所	(ベトナム)
ホーチミン駐在員事務所	(ベトナム)

主要な子会社

会社名	事業内容
国内	
株式会社ナカノテック(東京都新宿区)	建設事業
中野開発株式会社(尼崎市)	不動産事業・その他の事業
海外	
ナカノシンガポール(PTE.)LTD.(シンガポール)	建設事業
ナカノインターナショナルCORP.(アメリカ)	不動産事業
PT.インドナカノ(インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD.(タイ)	建設事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD.(マレーシア)	建設事業

取締役および監査役

取締役名誉会長	大島 義和
代表取締役社長	橋本 武典
取締役	浅井 晶
取締役	笹 裕
取締役	迫 宗和
取締役	中野 功一郎
取締役	黒河 利秀
取締役	安広 誠
常勤監査役(社外)	河野 勝
常勤監査役	渡邊 唯好
監査役	杉本 博嗣
監査役(社外)	佐藤 俊一

執行役員

取締役 副社長執行役員	浅井 晶(国内建設事業本部長)
取締役 専務執行役員	笹 裕(海外事業本部長)
取締役 専務執行役員	迫 宗和(東京本店長)
取締役 常務執行役員	中野 功一郎(経理部担当)
取締役 常務執行役員	黒河 利秀(経営企画部・総務部担当)
取締役 常務執行役員	安広 誠(海外事業本部副本部長兼海外事業本部建設部長)
専務執行役員	望月 藤一(国内建設事業本部事業統轄部長)
専務執行役員	山下 登志治(大阪支社長)
常務執行役員	川口 法男(ナカノシンガポール(PTE.)LTD.社長)
執行役員	荒木 克洋(東京本店副本部長兼東京本店業務統轄部長)
執行役員	奥山 晶市(東京本店副本店長)
執行役員	竹谷 紀之(東京本店リニューアル統轄部長)
執行役員	服部 智(タイナカノCO.,LTD.社長)
執行役員	山田 博(大阪支社副支社長)
執行役員	廣瀬 泰雄(大阪支社副支社長)
執行役員	宇田川 清(株式会社ナカノテック社長)
執行役員	杉浦 優(ナカノコンストラクションSDN.BHD.社長)
執行役員	菅谷 昭彦(国内建設事業本部事業統轄部副部長)

株式状況 (平成21年3月31日現在)

株式状況

■発行可能株式総数

普通株式	154,792,300株
第I種優先株式	5,600,000株

■発行済株式の総数

普通株式	34,498,097株
------	-------------

■株主数

普通株式	4,756名
------	--------

(注) 当社は、平成21年6月26日開催の第67回定時株主総会において、第I種優先株式に関する定款概当条の削除を決議しております。

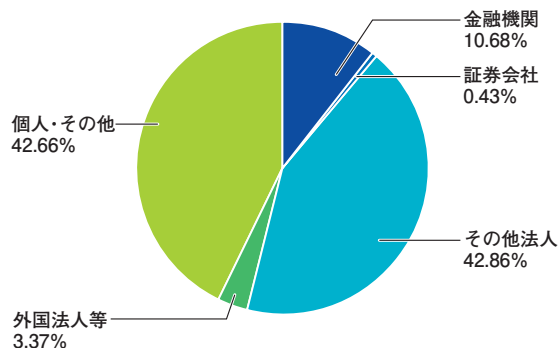
■大株主

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
普通株式		
財団法人大島育英会	6,756	19.64
関東興業株式会社	3,600	10.47
大島 義和	3,072	8.93
マリーン興業株式会社	2,000	5.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,647	4.79
株式会社MBサービス	1,200	3.49
有田 信子	1,170	3.40
ナカノ従業員持株会	883	2.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	730	2.12
ナカノ友愛会投資会	596	1.73

(注) 普通株式の出資比率は、自己株式(98,757株)を控除して計算しております。

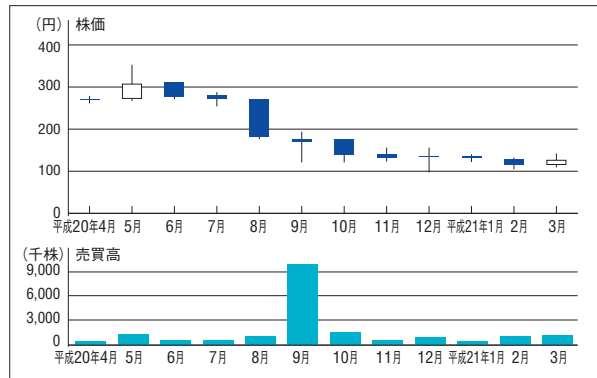
株式分布状況

所有者別分布状況(普通株式)



株式数	株数
金融機関	3,683千株
証券会社	147千株
その他法人	14,785千株
外国法人等	1,162千株
個人・その他	14,718千株

株価推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 500株
- 株名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

※株券電子化後の各種お手続きに関するご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にて承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<表紙写真>

「クリスタルビル」

竣 工 平成21年5月（第66期受注）
構 造 S造
規 模 1棟 地下1階／地上11階 塔屋1階
延床面積 1,676㎡
場 所 東京都千代田区

株式会社 ナカノブドー建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号

TEL 03(3265)4661

ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>



本報告書は再生紙を使用し、
大豆油インクで印刷しております。
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。